

COVID-19陽性患者もしくは疑い患者に対する手術時の感染対策Case Report集計結果(11月2日から11月8日回答分)

	症例数	手術	
陽性患者	2	開腹術	1
		脳外科手術	1
COVID-19疑い患者	3	脳血管内治療	1
		帝王切開	1
		緊急気管切開	1

事前シミュレーション実施	あり	3
	なし	2
	記載なし	0

手術室で気管挿管	4	McGrath	4
(喉頭展開1回で挿管)	(3)	AWS	0
区域麻酔	1		
局所浸潤麻酔	0		
	PPE	フェイスシールド	2
		ゴーグル	3
		シールド付きマスク	0
		記載なし	0
		N95	4
		PAPR (動力付き)	1
		手袋2枚	5
		手袋1枚	0

自由記載

疑い	帝王切開	待機的手術では、挿管・抜管よりもサージカルマスク装着下でのCSEAの方が飛沫の飛散は少ないと判断した。
	緊急気管切開術	耳鼻科による局所麻酔での気管切開術として手術室に申し込みがあり、麻酔科として情報を事前に察知できなかった。 術前に肺炎像を認め、PCR検査を施行した。しかし呼吸状態が悪化し、検査結果を待たずに気管切開術施行となった。 PCR検査未確定で肺炎像を認めたため、COVID対応として手術室陰圧室にて施行となった。 ここからは詳細不明ですが、患者が入室して仰臥位になり手術開始となったあたりで呼吸状態が悪化、緊急コールがなり、麻酔科として手術室に向かうことになった。